(2)　貰い物の刺身

昔、或る日の事、爺さんが夕飯を食べようとして、お膳に向かったところ、お膳の上の刺身を見た途端に「うっうーん」と言って引っ繰り返り、気絶をしてしまったので、吃驚(びっくり)した婆ぁさんは慌てて「爺様、爺様ぁー確りしてけれぇ、爺様、此の刺身っ子は貰って来たなで、買ったのでねぇー、爺様ぁー確りしてけれぇー」と言いながら、爺さんの身体を揺さ振ったら、爺さんは途端にむっくり起きあがり、「うん、判った、それなら良く判った。俺の身体は大丈夫だ。でも、此の『たまりっこ』もがぁー?」と言って、貰い物の念押ししてえだけどやぁー!……。